

SDM (shared decision making) とは、最良の医療とケアを決定するに当たって医学的な情報だけでなく、患者の生活状況や価値観なども大切に、医療者と患者が双方の情報を共有しながら、協働で最善の選択を探る「協働する意思決定」のプロセスである。慢性腎臓病 (CKD) に携わる医療者にとって、病いとともに生きる患者や家族の QOL や価値観を踏まえた SDM のありようが課題となっている。

そこで、今回は総論として SDM の研究者であり推進者である、第一人者の先生方に執筆をお願いした。医療社会学と臨床倫理学の立場から SDM の概念と意義について会田薫子先生に、腎臓病 SDM 推進協会の活動を推進する立場から SDM のあり方について小松康宏先生に、腎不全看護学会の立場から治療選択支援の課題について内田明子先生に、透析見合わせ、中止に関わる SDM の諸問題について岡田一義先生に解説いた

だいた。総論では、SDM の概要とともに課題をわかりやすく整理していただき、SDM の概要を理解するとともに、医療者に何が問われるのかを再考する貴重な機会となった。

また、各論では看護の立場から CKD ステージに応じた SDM の現状と課題についての報告をしていただいた。SDM を推進するうえでのシステム構築や、保存期 CKD 患者に対する腎代替療法における SDM、血液透析、腹膜透析、腎移植の治療選択に関わる SDM の実際、在宅療法や終末期のケアの実際について貴重な事例を提示していただいた。また、SDM のツールの紹介も含め SDM の全体像を整理する機会となった。

SDM は、人としての尊厳や人権などの倫理を問うものである。医療の現場でも、今後も活発な議論が行われることを期待したい。

(下山節子)

2020 年 (Vol. 36) 特集のご案内

No.① 透析患者の感覚器障害

No.② 透析液・透析関連排水の諸問題

No.③ 腎代替療法と Shared Decision Making

No. 4 世間の荒波にもまれる CKD-MBD 治療

No. 5 近未来の透析医療

(既刊は○)

臨床透析® Vol.36 No.3

© 2020 年 3 月 10 日発行
定価：(本体 2,600 円 + 税)

年間予約購読は前金にて弊社あるいは書店宛お申し込み下さい。ただし、年間購読料は年度により異なりますので、弊社または書店までお問い合わせ下さい。

発行人 増 永 和 也

発行所 株式会社 日本メディカルセンター

〒 101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-64 神保町協和ビル

営業直通電話 (03) 3291-3901 (代) FAX (03) 3291-3904

編集直通電話 (03) 3291-3971 (代) FAX (03) 3291-3377

e-mail dialysis@nmckk.co.jp

URL <http://www.nmckk.jp>

郵便振替 00110-2-80695

印刷所 シナノ印刷株式会社

・ Published by Nihon Medical Center, Inc. ©2020, Printed in Japan

・ 本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権 (送信可能化権を含む) は (株) 日本メディカルセンターが保有します。

・ JCOPY < 出版者著作権管理機構 委託出版物 >

本誌のコピーやスキャン等による無断複製は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構 (☎ 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail : info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。

■ 広告申込所 / 株式会社 文栄社 〒 113-0033 東京都文京区本郷 3-26-1 電話 (03) 3814-8541